

災害概略シート

| 項 目 | 内 容 |
|-------|---|
| 災害の名称 | 1854安政東海地震・安政南海地震 |
| 災害の種別 | 地震 |
| 概 要 | 立て続けに発生した巨大地震の揺れと津波により、関東から九州におよぶ広範囲の地域で甚大な被害が生じた。 |
| 時 代 | 近世（江戸時代） |
| 発生年月日 | 安政東海地震：1854年11月4日午前9時頃 安政南海地震：1854年11月5日午後4時頃 |
| 発生場所 | 安政東海地震：東海・熊野海岸沖 安政南海地震：紀伊水道・四国南方沖 |
| 被災規模 | 安政東海地震：死者2～3千人 安政南海地震：死者数千人 |
| 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・東海地震については、安政以来歪みが解放されておらず、いつ大地震が起こってもおかしくない状況とされている。東南海・南海地震についても、今世紀前半での再発が懸念されている。 ・今回の報告書においては、多くの被災地の中から伊豆下田（現静岡県下田市）、大坂（現大阪府大阪市）及び紀伊広村（現和歌山県広川町）における被害と対応の状況を中心に記載した。紀伊広村の濱口梧陵の活躍は、戦前の教科書に、物語「稲むらの火」として掲載され、広く知られるところとなった。 |